

緑・水・大気・ごみと資源・エネルギー・ひと

おうめ環境ニュース vol.16

おうめ環境ニュース(令和6年3月15日発行)

発行: 青梅市環境政策課/おうめ環境市民会議

所在地: 東京都青梅市東青梅1-11-1

電話: 0428-22-1111(内線2536・2537)

1面: 青梅にすむ野鳥たち

2~3面: 知っておきたい環境問題 農業・食料と自然環境

4面: みんなで、カーボンニュートラルを達成しよう!



カルガモ

カモ目カモ科 留鳥
体長: オス60cm、メス50cm

湖や池、川など淡水の水辺に生息。小魚や昆虫、水草、落ち葉などを食べます。卵を隠すために水辺の草むらや竹やぶなどに巣をつくり、一度に10から12個の卵を産みます。孵化した雛はすぐに歩き、最初に見た動くものを親と認識し後を追います。全ての卵が孵化した翌日、今度は雛が自力で餌を確保できる場所へ引越しをします。引越しは外敵から姿をくらます目的も兼ねていて、雛が独り立ちするまで数回実施されます。

【写真: 神山利文氏】 平成28年6月撮影。

お引越しの様子(霞川)

青梅にすむ野鳥たち



シジュウカラ

スズメ目シジュウカラ科 体長: 15cm前後
留鳥(寒冷地の個体や食物が少ない時には渡りを行うこともある。)

スズメより少し小さく、胸から腹に黒いネクタイ模様(オスはメスに比べて太い)があります。公園や庭などの平地から標高の低い山地、湿原などに生息し、果実や種子、ミミズや小型の昆虫などを食べます。キツツキの開けた樹の穴や建物の隙間、巣箱の内側などにメスが苔・動物の毛・綿毛などを敷いた巣を作ります。4月~7月にかけておよそ7から10個の卵を産みメスが子育てをし、オスは食物を巣に運びます。また群れとしても行動し、鳴き声(「ジャージャー」「ピーツピ」など)の組み合わせで天敵のヘビやカラス・猛禽類などの接近を仲間へ伝えたり、食べ物の受け渡しを合図する「言語能力」が発達していることも長年の研究観察で証明されています。

【写真: 神山利文氏】 令和5年5月撮影。

おうめ環境フェスタ2024開催予定

環境月間のパネル展示



おうめ環境フェスタは、自然と共生するくらしの提案や、環境活動に関わる人々のネットワークづくりを目的として開催しています。

今年も6月の環境月間中に、市役所1階ロビーで環境保全団体のパネル展示を行うほか、「おうめ環境マップ」のリニューアルに伴う掲載団体・法人の追加募集、基調講演の開催を予定しています。

詳細は、今後の広報おうめなどでお知らせしていきます。ぜひ、ご参加ください!



「おうめ環境マップ」市役所や市民センターで配布しています

